



# 活用しています 農業チャレンジサポート事業

## サポート3 機械・設備導入支援 農業用機械・農業用ハウスの導入をサポート

生産規模の拡大・省力化・高品質化等のための農業用機械・農業用ハウス等の設備導入を支援しています。

■10月末までの実績  
農業用機械：146件  
農業用ハウス：34件 319.3アール  
高品質栽培用資材：4件 50アール



常滑市  
村上 道明さん  
ファーム矢田代表

### 大型コンバインを導入

常滑市内で営農集団として稲作を行っています。コンバインは稲作農家には欠かせない農機。使用頻度も高く、古くなると故障も増えます。新しい農機の導入には費用が掛かるので、サポート事業を活用しました。性能も良く、作業効率が上がりました。



サポート事業を活用して導入したコンバイン



JAあいち知多では、生産規模拡大や高品質化、省力化に積極的にチャレンジする農家をサポートするため、総額1億5,000万円の「農業チャレンジサポート事業」を平成30年4月からスタートしています。

この事業は、担い手農家の皆さんからの意見を参考に誕生したもので、当JAが農業振興のために積み立ててきた「地域農業振興積立金」の活用を予定しています。

すでに多くの農家の皆さんに活用していただいている農業チャレンジサポート事業の中間報告と、農家の声を紹介します。

## サポート4 災害復旧支援 自然災害による被害の早期復旧をサポート

台風や大雨等の自然災害被害に対し、復旧にかかる種苗代や農業用施設資材の購入費用を支援しています。

■10月末までの実績  
115件  
※10月末までに復旧内容が確定した件数です。



武豊町  
森田 広幸さん  
花き農家

### 台風によるビニール破損を復旧

武豊町でミニバラ、ヒイラギなどの鉢物を栽培しています。7月29日の台風でハウスのビニール約4アールが破損してしまいました。復旧するための資材費はもちろん、サポート事業のおかげで、被害で沈んだ気持ちと和らぎました。



復旧したビニールハウス

## サポート1 土作り支援 土壌診断の費用を全額サポート

適正な施肥量を把握するため、土壌診断を行い施肥設計の改善を図る生産者に対し、土壌診断の費用を全額サポートしています（1人5点まで）。

■10月末までの実績  
945点（403件）



東海市  
安藤 正明さん  
フキ農家

### 土壌酸度の調整に活用

約75アールでフキを栽培しています。フキは定植から収穫が終わるまで約9カ月と栽培期間が長いので、連作するため土壌の酸性度が上がります。土壌診断の結果は、pHを調整するための石灰の施用や、肥料成分の見直しに役立ちました。

## サポート2 生産支援 苗・苗木の費用をサポート

改植による園地再生や有利販売に向けての有望品種の導入にかかる果樹苗木と、生産規模拡大のための野菜苗等の購入を支援しています。

■10月末までの実績  
果樹苗木・  
野菜苗：39件  
対象面積 1,314アール



大府市  
浅田 佳久さん  
露地野菜農家

### キャベツの作付けを倍増

秋冬作ではハクサイとキャベツを中心に栽培しています。加工用出荷も含めキャベツの栽培規模拡大を図るため、作付面積を1ヘクタール増やしました。苗の購入代金が助成されることが、規模拡大の後押しにつながりました。

JAあいち知多では農業チャレンジサポート事業を通じて、地域の農業振興と活性化による農業者の所得増大、農業生産の拡大を目指しています。今後も積極的に農業チャレンジサポート事業を活用してください。

## サポート5 地域営農振興支援 生産振興に向けて新たな事業活動をする生産部会等を支援

生産部会等が行う最新技術の実証や技術の普及拡大に向けた事業、販売力強化、ブランド化推進に向けた事業、今後産地をけん引する担い手を育成するための事業などを支援しています。

■10月末までの実績  
10件



南知多町  
佐々木 康寿さん  
肉牛部会代表

### 知多牛ブランドをPR

知多牛「響」は約50戸の農家が肥育し、年間約6000頭の出荷頭数を誇るブランドです。より幅広くブランドをPRするためのイベントの開催や、知多牛を扱う店舗を紹介する携帯アプリの開発や運用に、サポート事業を活用しました。